

1 学校理念

- ・学校は幸せになる方法を学ぶ所
- ・生徒は未来を変えていく存在として育む

2 教育目的

- ・樫原中学校で過ごす時間は、社会人になるための準備期間

3 学校教育目標

「仲間とともに自らを磨き続けられる人間の育成」

5 目指す生徒像

- 挑戦を支える仲間がいる生徒
- 挑戦を支える学力がある生徒
- 挑戦を支える自己有用感が持てる生徒

6 本校の生徒に身につけさせたい資質・能力

- 探究力（洞察力・実行力・忍耐力・協働力・批判的思考力）
- 読解力（課題設定力・情報収集力・情報選択力・情報活用力・論理的思考）
- 表現力（情報理解力・自己理解力・創造力・対話力・他者理解力）

7 今年度の重点目標と目標達成のための取組

重点目標 1 総合学習の成功

(1) 探究時間の計画的実践

- 自ら問いを立て、自ら探究する力の育成
- 年間50時間（1年生は40時間）の実施
- 本校の生徒に身につけさせたい資質・能力の獲得に向けて実施

(2) 成果発表会の実施

- 中間発表を経て成果発表会を行う。

重点目標 2 学力向上

(1) 授業力の向上

- 協同学習を中心にした授業改善
- G I G A端末の授業活用（グループ学習、ペア学習への活用）

(2) 「基礎・基本の定着」のための取組を行う

- 定期テストを3回から4回に増やす
- 週1回の学習部会にて、進捗状況の点検を行う。

(3) 主体的に学ぶ力を育てるための取組を行う。

- 「学習の手引き」を作成し、学習目標・学習の仕方・心構え・評価方法について生徒・保護者に知らせる
- 学習確認プログラムの結果をもとにした学力実態を分析する
- アセス（学校適応感尺度）における学習的適応との相関を分析する

(4) 実践と連動した教職員の研修を推進する

- 年に3回の公開授業週間を設定し、相互に授業を見合うことで、授業力の向上をはかる
- 教科内での研究授業を設定し、より専門的な分析を行う